

12月定例会 市長より議会へ 行政報告



門脇 榎夫 市長

地域審議会 を継続設置

十二月三日に、土佐山田・香北・物部三地域合同の「地域審議会」を開催した。「香美市まちづくり計画の取り組み経過」「新庁舎建設に伴う組織再編」について報告の後、来年三月末で設置満了を迎える同会について、今後の方針を協議した結果、引き続き三地域に設置することとなった。

新庁舎建設 の進捗状況

十一月二十五日、二十六日の両日、周辺隣接住民の皆様に対する工事説明会を行った。工事が始まると、騒音、振動、粉塵、工事車両の通行等々、周辺の方々にはご迷惑をおかけすることになるが、音、振動や粉塵の出にくい



新庁舎本体工事がはじまる

工法の採用や、重機はエンジン音の静かな電気モーター型を採用することにより、ご迷惑の低減化に努めている。十二月一日より仮囲いを始め、昨日八日には、起工式も執り行なわれ、今後、本格的に工事が始まる。

工事完了は、平成二十三年十月末だが、平成二十三年三月末にはエントランス部以外の引渡しを受けることになっている。

携帯電話の不感地域の解消については、(株)NTTドコモによる携帯電話用の鉄塔施設等の自主整備により、このたび物部町押谷、根木屋、岡ノ内、市宇、別府、久保堂ノ岡、久保中内地区と香北町では大谷を除く西川地区でサービスが開始され

携帯電話の通話エリア拡大

けすることとなるが、ご理解をお願いしたい。

また、物部町浦山地区では十二月中旬に、香北町では北岩改地区で明年六月下旬にそれぞれサービス開始が予定されており、相当の通話エリア拡大が図られることになった。

新型インフルエンザ

新型インフルエンザが猛威を振るっているが、感染の拡大を防ぐために、一人ひとりの感染予防努力が必要とされている。そこで、十一月二日の広報放送にあわせて新型インフルエンザ対策についての回覧文書と「ワクチン接種のお知らせ」文書の全戸配布を行った。

ワクチン接種については、妊婦、基礎疾患者への接種を十一月十六日から、乳幼児(一歳〜六歳)・小学校低学年(一〜三年生)については、十二月四日

ユズ集出荷施設を整備

から開始しており、その後、小学校高学年、中学生、高校生、健康な高齢者(六十五歳以上)へと順次実施されている。

なお、上記対象者のうち生活保護世帯及び低所得者世帯について、全額公費助成するよう本議会に提案している。

農地有効利用支援事業による水路等の工事は、土地改良区実施八件、香美市十三件が採択となり、本年度完了予定となっている。ユズ集出荷施設の整備も農業生産体制の強化を図るために策定された「農業生産体制強化緊急整備事業」により選果ラインの整備に取り組む。

また、農地・水・農村環境保全活動において土佐山田町明治地区

で新たな取り組みがあり、全体で五地区、約一三〇軒が対象区域となった。

国の農業政策については不透明感が漂っており、引き続き制度の動向を注視しながら、関係機関連携のもと情報発信に努めたいと考えている。

下水道事業の進捗状況

公共下水道の浸水対策事業として、長く懸

案事項であった土生川の川原田堰移転工事を含め、国分川・土生川合流点付近の県河川改

修工事最最終段階を迎えている。中央雨水幹線（終末吐出し部）雨水排水路整備工事も発注済みであり、年度内完成に向け努めていく。

また、汚水管渠敷設工事では公共下水道事業で楠目地区、農業集落排水事業で逆川地区、各々の地域で地元の方々に協力を頂き工事は順調に進捗している。

香美市不法投棄等監視カメラシステム

不法投棄・違反ごみ等への対策として、地域活性化・経済危機対策臨時交付金で監視カメラシステムを三基購入し、十一月十日に「香美市不法投棄等監視カメラシステム」の運用に関する要綱を制定・告示、同月十七・十八日に土佐山田町地区一カ所、香北町地区一カ所、物部町地区一カ所の計三カ所へ監視カメラを設置した。

また、本事業とは別に環境省四国地方局高松事務所の地方補助の一環として、貸与された監視カメラを土佐山田町地区に一基、二十二年三月末までを期限として設置している。

人権教育と啓発の推進

昨年度より取り組んでいる「人権教育及び啓発の推進に関する香美市行動計画」は、作業部会、策定委員会での協議を重ねて、十月三十日にて最終意見が

出来上がり、印刷の段階に入っている。今定例議会終了までには、本計画を配布できる見込みとなった。人権が尊重される平和で豊かな社会に向け、総合的かつ計画的に人権意識の向上に向けた取り組みを進めていく。

授業研究会を開催

全国学力・学習状況調査や標準学力検査結果を踏まえて、本市児童生徒の読解力向上、自分の考えを持ち、話し合い活動を充実させ

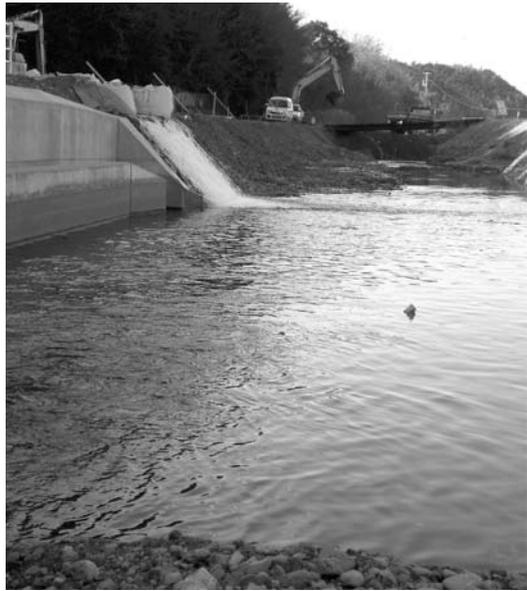


市内保育園の休園状況

ることなどを目的とした授業改善の研究を推進している。今年度は、国語科、算数・数学科について、講師・アドバイザーとして二人の大学教授に年間を通して指導していただいている。

新型インフルエンザによる市内保育園の休園状況は、十月下旬から休園が相次ぎ、延べ十一園が休園。

四回、延べ九校で公開授業を実施しながら、授業改善について研究するとともに、その成果と課題を全小中学校で共通認識として共有し、学力の向上を図っている。また、保育園休園にともない一カ月に四日以上休園することとなった場合、休園した月の保育料を休園日数（休園期間中の「おこまり保育」利用日数は除く）に応じて減額する措置を取るようになった。



土生川改修工事